

報道関係各位

大船渡市長への市民協働による「地域子ども・子育て支援」に関する提言書の提出について

本学が復興支援、地域貢献の一環として、本年5月から7月に市民団体「おおふなとキッズワーキング」と協働で開催した「ママからはじめるまちづくり」と題したワークショップの成果として、下記のとおり地域の子ども・子育て支援に関し、大船渡市長あてに提言書を手渡すこととなりましたので、当日のご取材・報道についてよろしく申し上げます。

記

1 日時：平成26年9月2日（火） 午後4時00分

2 場所：大船渡市役所 市長室隣の応接室

3 提言内容

復興に向けたまちづくり・地域づくりの担い手である子ども・子育て世代を支える「子ども・子育て新制度」の整備に向けた、子育てしやすいまちづくりを実現するための具体的な方策に関する提言。

4 提出者：4名

大村恵世（おおふなとキッズワーキング/子育て当事者）、鈴木ひとみ（子育て当事者）、男子高校生1名（大船渡高校生/ワークショップ参加者から選定中）、吉田祥子さん（大船渡東高校3年生/ワークショップ参加者）

5 同行者

淵上清（おおふなとキッズワーキング/大船渡市議会議員）、今野善信（おおふなとキッズワーキング/大船渡市議会議員）、櫻幸恵（岩手県立大学講師）

6 その他

ワークショップ及び提言作成は、岩手県立大学地域政策研究センター地域協働研究（地域提案型）2013年度後期事業として実施されたものです。

※ワークショップ「ママからはじめるまちづくり」の開催概要

おおふなとキッズワーキングの主催、岩手県立大学櫻研究室の協力により、ワークショップを計7回開催し、大船渡市における子ども・子育て支援に関する課題の抽出及び解決策について議論を重ねてきたもの。参加者は子育て当事者から高校生まで多岐にわたり、大船渡高校で開催したワークショップでは80名を超す参加者により世代を超え活発な議論が交わされた（参加者延べ153名）。

※おおふなとキッズワーキング主要構成員

特定非営利活動法人こそだてシップ、のびのび子育てサポータースマイル、子育て当事者大村恵世、大船渡市議会議員淵上清、大船渡市議会議員今野善信、非営利株式会社三陸復興新まちづくり会社、岩手県立大学櫻研究室（櫻幸恵）（※下線は、岩手県立大学地域協働研究者）

【問合せ先】岩手県立大学社会福祉学部 櫻幸恵 講師 TEL 019-694-2386